

# 都市局長賞

## 都市計画道路 比治山東雲線(比治山トンネル)整備事業 (表彰対象者：広島市建設局)

### 表彰の理由

公園直下の少ない土被り、複雑な岩盤を最新技術により克服して、土木技術の向上に貢献するとともに、デザイン的にも周辺景観との調和を図り、ゆとりある歩行者空間を備えた幹線道路（トンネル）として整備された。

### 事業のあらまし

比治山トンネルは、広島市中心市街地に位置し、現代美術館などの文化施設の整備が進む比治山公園（比治山）の直下を貫く道路トンネルである。本路線は、比治山により隔てられた段原地区と都心部とを直結する幹線道路であり、原爆の災禍から免れた旧い街並を再開発し、近代的な街づくりを進める段原土地区画整理事業と一体的な整備を図ったものである。

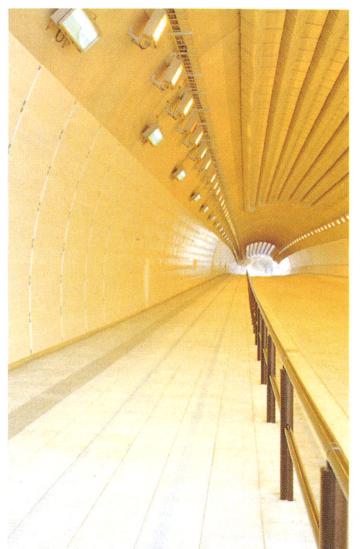
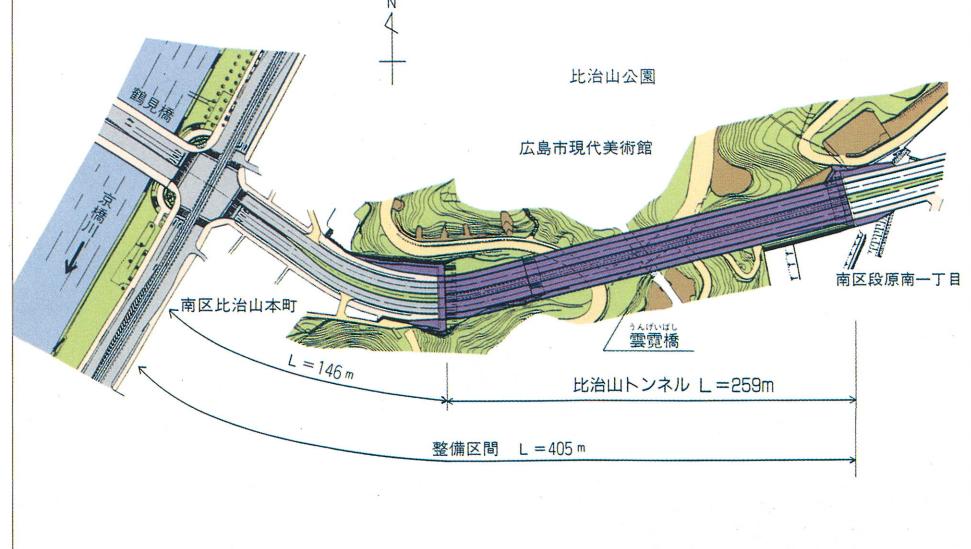
- 延長：405m（トンネル259m）
- 幅員：26.5～29.6m（トンネル11.25×2ライン）
- 事業費：6,400百万円
- 事業期間：昭和56年4月～平成5年3月



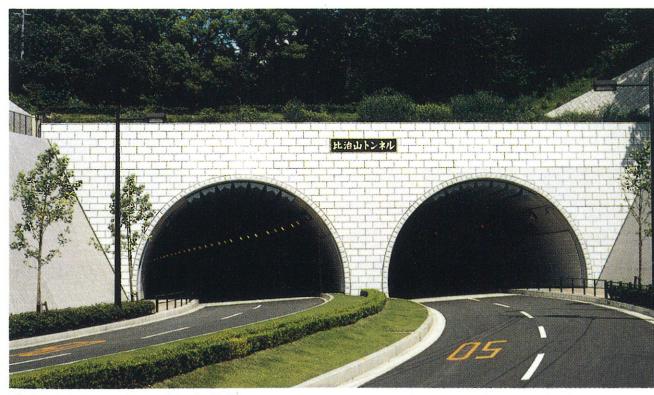
位置図



平面図



ゆったりとした歩道空間



完成後の状況。(始点側)



完成後の状況。(終点側)



トンネル内掘削状況

### 事業遂行上の工夫

トンネル中心間隔を接近させたメガネトンネル構造であり、住宅密集地に近接し、都市公園直下でしかも土被りが極めて小さいことなどから、機械掘削による慎重な施工を要した。また、坑口部は石張工等により周辺景観に調和させるなどの工夫も行っている。